



広報

ごよがわら

発行所
 五所川原市役所
 438号
 昭和54年1月1日
 印刷 西北印刷

市の人口	男	25,479人	世帯数	14,251
52,622人	女	27,143人		

(昭和53年12月1日現在) 住民基本台帳から



市民のみなさん
明けましておめでとごぞ
います。

馬年の昨年は、景気が回復するものと予測したのでありましたが、期待外れのまま越年しました。

今年は羊年、内も外も暖かく充実され、健康で豊かな明るいくらしが実現できる



五所川原市長 寺田秋夫

うるおいある行政を

大変苦心を要するものと考えられます。しかしながら、市民福祉の向上が最高目標でありますので、生活環境の整備、

道路の改良と岩木川新大橋の建設の具体化、立体交差橋の建設等、一層の進展を図るように取り組みたいと考えております。

幸の年でありますよう心からお祈り申し上げます。さて、今年も市の台所は厳しく、多様な行政需要にどのように応えていくかが、

社会資本の充実を優先して、乏しいなかにも、潤いのある行政をと念願し、鋭意努力して参る所存であります。即ち、舗装の拡大等生活

また、四月一日から県立普通高校として発足が内定している七和高校の県移管を実現し、待望久しい中央公民館の建設に着手したいと計画しています。

さらには、市営野球場をぜひ今年中に完成して、スポーツ振興に供したいと努めております。

農業は今、大きな曲角に立たされていますが、転作物の適地適作を定着させ、中州山の畜産振興、新農業センターの機能發揮により、この難関を突破いた

したいと存じます。商工業につきましても、商店街診断の実施、経営資金融資枠の拡大等、振興策に新たな視点から取り組みたいと考えております。

西北中央病院敷島分院の移転新築は、永年の懸案であり、今年は、何とか着工にふみきり、名実共に基幹総合病院として整備して参る所存であります。

市政担当三年目を迎え、就任以来のモットーである意思の疎通を図って、施策の展開に努めるつもりであります。市民のみなさんのご理解、ご協力をお願い申しあげ新年のごあいさついたします。

年頭のあいさつ

輝かしい新春を迎えるに当り市議会を代表して市民の皆様につつしんで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年はオイルショック以来打ち続く、インフレと不況の低迷下であり、かつまた国の内外ともに多事多難の年であり、これらを反

映して地方自治体の運営はきびしく、なかんずく周囲を取り巻く地方財政の窮極的圧迫により、より一層危機的様相を呼びさらに深刻

ます需要が増大しており、その内容も複雑多岐、広範囲にわたっております。このような現況の下で迎える昭和五十四年は、当市にとつ

行政効果の向上を

市議会議長 福士孝一

化の一途をたどる中で暮れました。

一方市民の皆様は市政に對する要望は年と共にます

て、極めて重要な年になると思われま

経済不況に伴う、農業政策の根本的見直し、都市基

盤の確立と近代都市施設の整備、これらを基に市民福祉の充実に関連する重要な諸問題に対処するために

は、あらにも厳しい財政状況の裏に在るなかで市民を代表する議会人といたしましては、市民の総意に耳を傾けながら、より一層の市民福祉向上のために、国、県に對しその対策助成を強く働きかけるとともに、執行機関と相提携し、お互に協力して、財政の許す限り最大限の行政効果を高める

況の裏に在るなかで市民を代表する議会人といたしましては、市民の総意に耳を傾けながら、より一層の市民福祉向上のために、国、県に對しその対策助成を強く働きかけるとともに、執行機関と相提携し、お互に協力して、財政の許す限り最大限の行政効果を高める

ため、一丸となって努力をすべき年と考えております。市議会は五万市民の代表として、議決機関の権限を最大限に發揮しつつ、市民の皆様のご期待に添うよう努めています。

どうか本年もより一層のご理解を賜り、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。新しい昭和五十四年が市民の皆様にとりましても、幸せな良き年でありますよう、お祈り申し上げます。つつしんで新年のごあいさついたします。

「実技講習会」
 □とき 一月十日(水)〜十二日(金)午前九時から
 □ところ 西北労働基準協会
 □受講料 六、〇〇〇円(テキスト代含まず)
 実技講習修了者に限り受験資格が与えられます。

「学科講習会」
 □とき 二月六日(火)〜九日(金)午前九時から
 □ところ 西北労働基準協会
 □受講料 八、〇〇〇円(テキスト代含まず)
 □テキスト代 二、一〇〇円
 □受講定員(実技、学科とも) 八十八人
 □申込み締切り 一月八日
 □申込み問合せ先 市内新宮町八四〜五、社団法人「西北労働基準協会」(☎5633六番)
 なお、試験は二月二十日(火)青森市で行われる予定です。



「寒さにまげず、がんばってね」
少年少女のアイドルで、歌手の高田みづえさんが、十二月十七日、「がんばってね」と高田みづえさん不慮の交通事故で父母を失った市内の交通遺児を励ました。

のジーンズにセーターといふ軽装。
歳末の一斉取り縮まりで多忙な警察官の労をねぎら
「アイドルのみづえさんと会って遺児たちも終始緊張気味、「もつと時間があれば、いろいろ聞きたいことがある」
「がんばってね」と高田みづえさん
交通遺児を励ます
「アイドルのみづえさんと会って遺児たちも終始緊張気味、「もつと時間があれば、いろいろ聞きたいことがある」
「がんばってね」と高田みづえさん
交通遺児を励ます

顔を上げさせていました。高田みづえさんは、「硝子坂」でデビュー、「花しぐれ」、「女ともだち」などのかれんな歌声で茶の間の人気を集めています。
この日は、市民体育館で昼夜にわたって行われた

交通安全

二題

「五所川原は初めて、雪が積っていないのが、ちょっと残念」と目を輝かせていました。



横断は

見ろくせ

待つくせ

止まるくせ

「酒酔い運転は、絶対やめて下さい」
年末の交通安全運動が始まった十二月十六日、寺田市長ら三役、市本庁の全課長が街頭に立ち、交通遺児を励ました。
通三悪等の追放を呼びかけました。
市内の交通事故は、十二月十六日現在(五三年一月から)二百七十五件発生し、前年同期より九十八件

も増えていきます。
この事故で、亡くなった方は七人(前年同期より一人減)でしたが、ケガをした人は、三百二十二人となり前年より九十人も多
十人が参加、旧市内の主要国道や交差点からドライバーや歩行者にチラシを配ったり、横断歩道を渡るよう呼びかけました。
お年寄りの信
が目立ちましたので、「大人は、正しい横断の手本を示して下さい」と関係者はうたえています。
どこのどこまで続く交通事故
市長以下、全課長が防止を呼びかけ

歳末たすけあい、 ご協力ありがとうございます

市社会福祉協議会

義援金の寄託者は次のとおりです。

金額	住所及び団体	代表者
15,350円	寺町岩木町々内会	福士 孝一
9,040円	小曲町々内会	三浦 行一
5,000円	本町々内会	葛西 専造
5,000円	鎌谷町々内会	寺田 清
7,680円	大町々内会	石井 次郎
12,400円	飯詰中学校第1学年	がらくた市
10,000円	新宮団地第1町内会	三上 一之
12,900円	新宮団地町内会	三上 一之
61,500円	五所川原甚句保存会	鶴谷初太郎
10,000円	五所川原市婦人会連合会	佐藤 貞
9,050円	市教育委員会親睦会	鈴木 誠一
2,295円	市図書館長	島田 克孝
2,000円	寺町岩木町	わかば会
10,000円	敷島町	葛西造花店
42,470円	中平井町自修団	瓜田 栄蔵
6,000円	下平井町々内会	鶴谷初太郎
10,000円	下平井町	青年部一同
33,655円	五所川原第1 中生徒会	盛 ゆかり
216,524円	ちどり舞踊団	佐々木伸雄
8,066円	漢 川	藤玉 章園
15,000円	市清婦公書課	長尾弥一郎
43,584円	市大和山五所川原ブロック青年会	太田 勲
3,000円	末広町新宮町々内会	小山田鳳隆
5,000円	上平井町々内会長	辻 トヨ
33,439円	東北電力五所川原営業所同盟	阿部 春市
2,500円	弥生町々内会	秋元滝太郎
4,385円	中平井町医療法人白生会勤務	米田 新治
2,500円	成田町々内会	金沢 定雄
78,890円	五所川原ライオンズクラブ	小関 和男
200,000円	医療法人白生会	佐藤 浩平
7,000円	難田町々内会	佐々木昭市
21,590円	十川町々内会	前田 實
19,590円	東北電力電労青年部長	芋田 恭孝
50,000円	西北五遊技業協同組合	山本 清一
6,500円	新町々内会	神 幸一
16,000円	幾島町々内会	高橋 慶造
164,100円	五所川原ロータリークラブ	尾崎 正雄



社会福祉事業にと 十六万四千余円寄付

ロータリークラブ

五所川原ロータリークラブ(尾崎正雄会長、会員五十七人)は、十二月十六日、社会福祉事業に役立てて下さいと、現金十六万四千百円を市に寄付しました。写真

家族忘年会で行った、チャリティーショアの売り上げ金をそっくり寄付したものです。

善意銀行への預託ありがとうございます

金額	住所及び団体	代表者
21,300円	本 町	鶴谷むつ系
20,000円	J K C 五所川原支部	山上藤之助
1,600円	川村長吉	
100,000円	田 町	木村孝次郎
8,000円	鳥 森	高橋 和夫
55,510円	津軽三味線木田秀栄会	津軽屋楽器店
50,000円	田 町	斎藤 徳久
51,597円	五所川原パール会	斎藤 徳久
100,000円	五所川原照秀会	照秀会長
10,000円	五所川原照秀会あゆみの箱	照秀会長
3,000円	神 伊三郎	
50,000円	龍生派五所川原支部	松江 香山
10,060円	みちのくココ・コーラドリンク株式会社	五所川原営業所
7,275円	県立鶴田高等学校	J R C
10,725円	県立五所川原農林高校	J R C
46,000円	大 町	鳥の多一
14,600円	五所川原ブラザー編物研究会	五所川原支部
3,500円	柏原町	蔭苗米三郎
20,000円	西北支局	陸奥新報社
18,500円	弘前市新寺町	藤森 春
10,000円	三ツ谷	坂本 甚作
64,711円	昭和パール会	斎藤 徳久
64,450円	茶道真千家淡交会市青年部	木村 圭子
11,425円	金木警察署	松橋 重蔵
50,000円	布屋町	津軽仏誠堂
衣類数点	本 町	中三デパート
〃	みどり町	長尾 政雄
〃	松島町6丁目婦人会	北川 セツ
〃	さつき町	工藤 ちせ
〃	小 曲	平川 照己

以上は、12月16日までの受付け分です。

16日以降の受付け分は、次号に掲載します。



社会福祉事業にと 七万八千余円寄付

ライオンズクラブ

五所川原ライオンズクラブ(小関和男会長、会員七四人)は、十二月十四日、社会福祉事業に役立てて下さいと、現金七万八千八百九十円を市に寄付しました。写真

先きに行った、クリスマス家族例会のチャリティー募金に会員が協力したものです。



市長、くるみ園のお年寄りを慰問

「かぜをひかないで、元氣にお過ごしを」
 クリスマスにひと足早い十二月十九日、寺田市長が養護老人ホーム「くるみ園」を訪ね、お年寄りを慰問しました。

「かぜをひかないで下さい」

この日は、食堂に会したお年寄りひとりひとりにお菓子をプレゼント、「寒さの厳しいおり、健康に留意し、明るい正月をおむかえ下さい」と励ましました。同ホームには、現在六十五歳以上のお年寄り四十八人(平均年齢七五歳)が入所しており、静かな環境で楽しい余生をおくっています。



32年ぶり 母と息子が再会

家は浜江省五常県で太平川

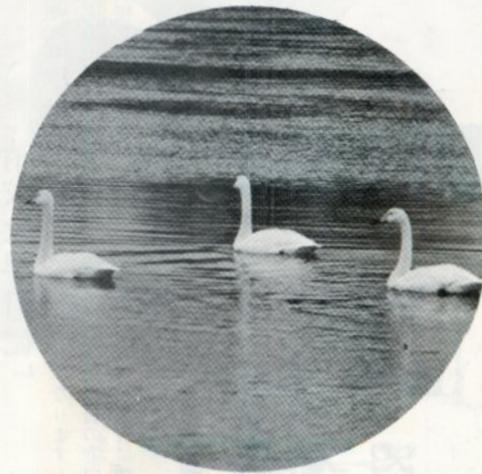
—秋さん、中国から一時帰国
 千葉・成田空港で姉兄四人とも涙の再会、このあと青森まででできたなみさんと再会したものです。

昭和十五年二月、一

市庁舎うらの岩木川に、さる十二月十二日、前年より三日ほど早く三羽のオオハクチョウが姿をみせました。
 一度降った雪もすつかり消え、この日は朝から雨模様。雨雲が重くたれこめた暗い川面に優雅な姿を浮かべていましたが、雪のない場違いな光景にか、四、五日後にはどこかへ飛びたつてしまいました。

ハクチョウ

しばしの休息?



戦時中、中国東北地方の満州開拓地で生まれ、

終戦時の混乱で中国人家庭に引き取られていた高瀬一秋さん(三四)中国名、石占林は、十二月八日、市内梅田に住んでいる母親のなみさん(七一)と三十二年ぶりの対面をしました。

開拓団に入植、一秋さんは現地で生まれた。父は、終戦直後開拓地で病死。そのころ、母なみさんも病気で重体となり、一歳だった一秋さんを中国人家庭に預けた。

二十一年六月、なみさんは一秋さんをつれて引きあげるつもりだったが、中国人家庭で一秋さんを手放さないため、一家は一秋さんをおいたまま帰国した。

なみさんは、「生きていけるうち再会できるとは思わなかった。こんなにうれしいことはない」と目を潤ませておさえていました。

